

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第43週（10月21日～10月27日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎 報告数多い状態が持続」

第43週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,139例であり、前週比0.8%増であった。定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.66、3.10、1.71、0.40、0.37である。

手足口病の報告数は前週比12%減の919例で、大阪市北部7.50、北河内7.04、中河内6.37、三島5.12、大阪市西部4.30であった。

感染性胃腸炎は14%増の610例で、南河内5.25、大阪市西部4.10、北河内3.92である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は24%増の336例で、大阪市南部3.11、堺市2.74、泉州2.19であった。

RSウイルス感染症は25%減の78例で、大阪市北部1.00、中河内0.58、泉州・北河内0.52である。

流行性角結膜炎は5%減の19例で、中河内0.80、南河内・泉州・大阪市西部・大阪市東部0.50であった。

インフルエンザは19%増の200例で、定点あたり報告数は0.65である。堺市0.97、大阪市東部0.95、北河内0.85、大阪市北部0.70、豊能0.68であった。

新型コロナウイルス感染症は4%増の318例で、定点あたり報告数は1.04である。大阪市東部1.36、堺市1.34、泉州1.32、豊能1.30、北河内1.27であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は5%減の56例の報告があり、定点あたり報告数は3.11である。

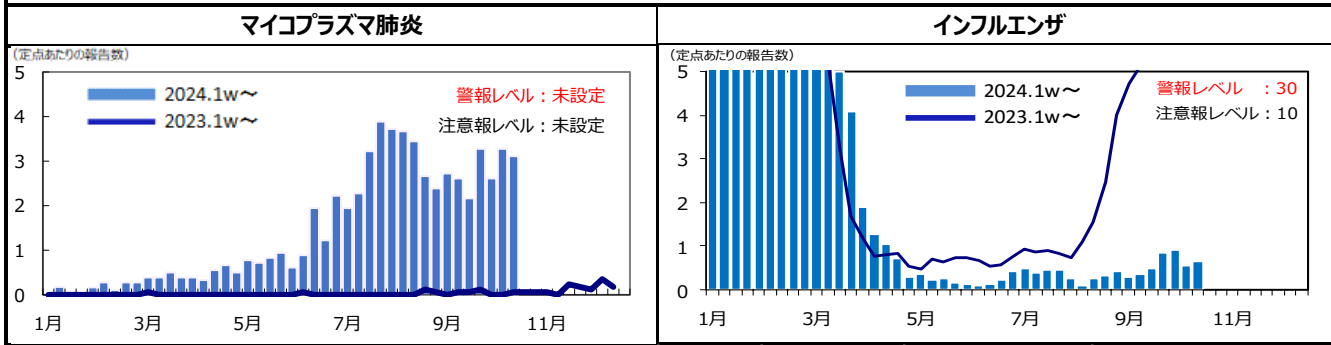


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第43週10月21日～10月27日）

第43週の順位	第42週の順位	感染症	2024年 第43週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第43週の 定点あたり 報告数	2024年第43週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	手足口病	4.66	12%減	0.49	1歳_18%
2	2	感染性胃腸炎	3.10	14%増	3.44	1歳_13%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71	24%増	3.75	10-14歳_16%
4	4	RSウイルス感染症	0.40	25%減	0.10	1歳未満_36%
5	5	流行性角結膜炎	0.37	5%減	0.71	20歳以上_79%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.65	19%増	12.65	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	1.04	3%増	1.82	80歳以上_17%

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

第43週のコメント

～百日咳～ 生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症	
百日咳	
<p>百日咳は、百日咳菌 (<i>Bordetella pertussis</i>) による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。</p> <p>百日咳（大阪府感染症情報センター） 百日咳とは（国立感染症研究所）</p>	<p style="text-align: center;">年別累積報告数（大阪府）</p> <p>(例)</p>

表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第43週10月21日～10月27日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3			1	2					195
4類感染症	E型肝炎	1								1	4
5類感染症	アメーバ赤痢	3		1						2	32
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1				146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1							1	94
	シアルジア症	1								1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	3					1		1	1	195
	梅毒	13		2	1	1	2			7	1,565
	百日咳	12			4		2		2	4	122
結核 (2024年8月分)	結核 新登録患者数：87名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 27名) (府内累積報告数 715名、内 肺・喀痰塗抹陽性 261名) (2024年10月29日 集計分)										